

「CI戦略」コンサルティング講座(岡山)

CI(コオーペレートアイデンティティ)戦略は1990年ごろに多くの中小企業で導入された企業改革戦略です。経営戦略の再構築として、経営理念・経営方針の再構築を行い、これから新たに経営を行っていく、言わば再創業戦略ともいえる方法です。

事業承継などの新しい経営体制に変化した場合や、新しい時代に対応するための経営方針の見直しなどの目的で導入された戦略です。経営理念や経営方針の再構築から、社名の変更・マーク開発などを行うとともに、今後の経営計画、人事制度などの見直しを行う戦略です。

開催日：令和5年5月13日(土)、14(日)の2日間
時間 2日は9:30~18:00、3日は09:00~18:00
場所：蓮室コンサルタント事務所(岡山市北区)

申し込み締め切り日
R5年 4月 30日

- 講師 蓮室 光雄
- 参加費 120,000円(税込み)
同じ事務所2名目、または再受講者は60,000円
- 資料：CI策定マニュアル

主催：株式会社ウイルアンドスタイル
蓮室コンサルタント事務所

お申し込みは下記のいずれかのウェブからお願いします

(<https://www.hasumuro.com/seminar/>) または

(<https://www.hasumuro-willst.com/service>)

セミナーの内容に関する問合せは、090-1339-4851(蓮室)まで遠慮なく何でもお問い合わせください。

蓮室光雄の「C I 戦略」コンサルタント養成講座の内容

1 「C I 戦略」の構築

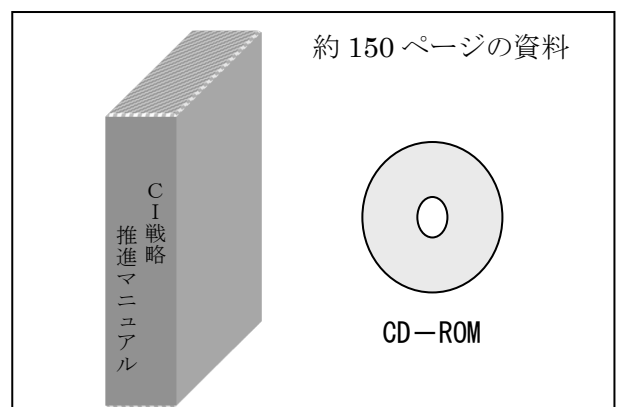
- ① 中小企業に適した、再創業戦略です。
- ② 大企業では、企業イメージ戦略として 1990 年ごろに多くの企業に導入されたです。
しかし、真の目的は企業イメージの変更ではなく、再創業としての戦略です。
- ③ 企業の基本経営理念、経営方針などを再検討したうえで新社名、マークを開発します。
- ④ 社員を巻き込んで新しい経営理念や経営方針を決定しますので、社員全員の意志や想いがこもったものとなり、社員のモチベーションが高まります。
- ⑤ 新しい想いがこもった社名、マークを開発しますので、社員の愛社心が高まります。
- ⑥ 新社長を支える管理者が育ちます。

2 テキストの内容

- ① コンサルタントマニュアルの構成
CD-R 付ですぐに実践できます
コンサルティングノウハウシート（アンチョコ）
プロジェクト用記入シート／宿題シート
アンケートシート、インタビューシート
などがマニュアルに入っています。
- ② 活動領域、経営理念、経営方針、そして行動指針などの企業活動の原点を再構築します。つまり、どのような分野で、何を企業使命として、どんな方針で活動するか決定し、そのために日々の行動はどうあるべきかを決めます。
- ③ 上記の想いを表現する社名の開発、マークの開発を行います。
- ④ 経営目標、人事制度などの制度設計を行います。

お渡しするツールの式

コンサルタントとして企業を指導する場合に必要な、資料およびそのデータを提供いたします。



蓮室コンサルタント事務所

〒700-0933 岡山県岡山市北区奥田 2-4-2

TEL/086-230-1557 FAX/086-231-2557

蓮室携帯：090-1339-4851

URL: <https://www.hasumuro.com/>

C I 戦略は企業に働く従業員の皆さんに「働きがい」を持っていただくために最適な戦略です。

今、厚労省は「働き方改革」と称して、残業時間の上限規制、同一労働同一賃金、高度プロフェッショナル制度導入、年次有給休暇の取得、などが叫ばれています。この「働き方改革」の目的は何でしょうか？ もちろん労働者（この呼び方は好きではありませんが）の身体と精神面の健康、そしてパート社員や有期社員の待遇改善にあると思いますが、真に必要な課題は従業員の皆さんの「働きがいづくり」ではないでしょうか。

私は今までに中小企業のC I 戦略導入のお手伝いをさせていただきましたが、この戦略が今までにない従業員の皆さんの働きがいに繋がったのです。C I 戦略では、企業理念・経営方針を策定した後に、社員の想いを込めた新しい社名を開発し、新しいマークを開発します。そんなC I 戦略の導入後、経営計画の策定や人事制度の整備など、さまざまな面で組織の活性化が推進されました。

私は従業員の皆さんの「働きがい」をコンサルティングのテーマとしてきましたので、このC I 戦略はもっとも働きがいの向上に役立った戦略であると思っています。

C I 戦略は、経営者が新しく刷新された場合、例えば事業承継などの場合には組織の活性化に効果的です。

例えば、二代目社長が創業社長から経営を継承し、二代目社長として組織の統率を図る上でC I 戦略は非常に効果的な戦略となります。ただし、この場合、経営理念や経営方針などの経営の最重要事項を社長一人で決めるのではなく、管理者や社員を巻き込んで決定し、社員全員の参画が必要です。

「C I 戦略」ってどんなことをするのか？

◆「C I 戦略」は企業の独自性を明確にし、それを表現する戦略です。

C I とは、企業の独自性を明確にすることで、たくさんある企業の中から識別してもらえるように経営理念、事業領域、そして視覚表示の面から独自性を創り出す戦略をいいます。

CIとは

Corporate : 企業
Identity : たくさんある中から識別できること

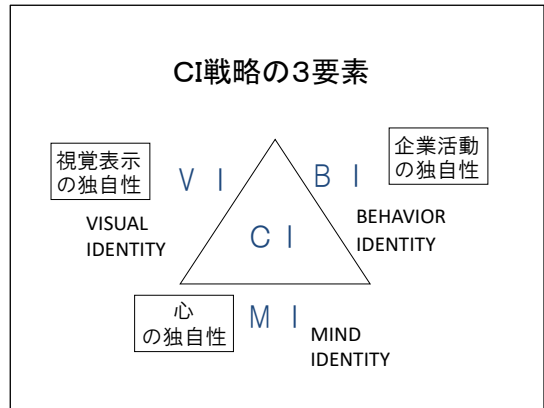
我が社の独自性を明確にし、たくさんある同業の企業群の中から、我が社を経営理念、事業展開、そして視覚表示の3つの面から識別してもらうことで企業の発展と安定を生み出そうとする戦略です

◆「C I 戦略」の3つの要素

(1) 基本となるのは、M I (マインド・アイデンティティ) です。これは心の独自性作りです。企業理念や経営方針などを意味します。

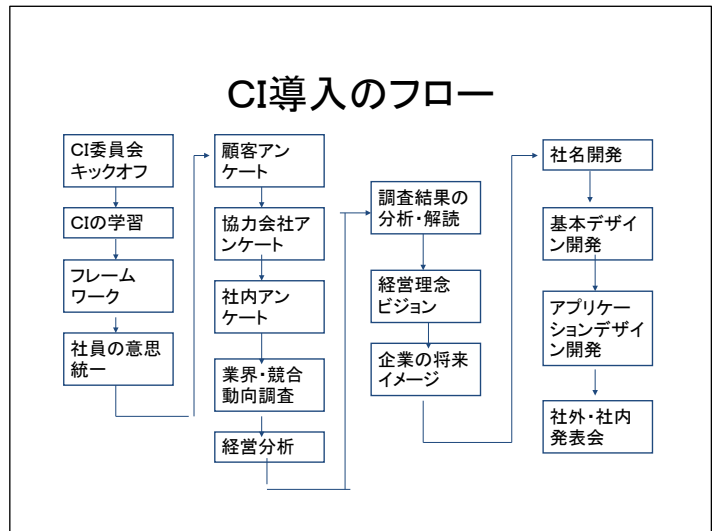
(2) 次にV I (ビジュアル・アイデンティティ) です。M I を視覚表示するための社名やマークを開発します。

(3) 3つ目はB I (ビヘイビア・アイデンティティ) です。M I で決定した企業行動を実践することがB I、つまり行動の独自性です。



◆C I の導入フロー

C I の導入手順は、右図に示す通り、C I 委員会を結成し、キックオフからC I の学習、フレームワーク、各種のアンケート調査を経て経営理念やビジョン作成し、新社名の開発に至ります。さらにマークのデザインに至ります。



◆これからの企業パワーイメージ

企業発展の原動力は右図に示すように、トップが逆三角形の最底辺で企業全体の支えとかじ取りをしているイメージです。一般社員の皆さんは最前線で同業他社と戦っているイメージです。管理者はその一般社員を後方から支援しているイメージです。

企業はトップが上からの権力で管理者や一般社員を働かせているのではありません。企業のパワーイメージはトップ、管理者、一般社員の力を合わせて発揮できるものです。

